

保護者の皆さまには、お忙しい中アンケートにご協力頂きましてありがとうございました。皆さまから頂戴した励ましのお言葉や、貴重なご意見を真摯に受け止め今後の教育・保育の改善に努めていきたいと思います。

お子さまの様子で気になったこと等ありましたら、遠慮なくお話ください。

【主なものについて園からのコメント】 改善が必要な取り組み：その他について

【行事開催日・運動会について】

- ・ 月初めに開催されることが多い、月初めや月末は避けてほしい。3,4,5 歳児一緒でもよい、在園しているきょうだいも親と参加できるとよい、一週間延期について…等ご意見を頂戴しました。園の行事は、こども園の行事バランスと小学校・中学校の行事等を聞いてから、なるべく重ならないように決めております。運動会挨拶で時期を考えると話しました。来年度は、今現在 10 月の中旬に計画（変更あり）を立てております。
- ・ 「3・4・5 歳児一緒でもよい」に関してですが、こども園駐車場と、小見川市民センター駐車場（片面のみ許可）で、保護者様分確保することが難しい為、3・4・5 歳児が一緒に開催することは難しいです。
- ・ 「在園しているきょうだい児も親と参加できるようにしてほしい」に関してですが、園としてはごきょうだい児がいる保護者様には、上のお子様の頑張っている姿を、その子が保護者様を独占できるといいな、少しでもゆったりと見ていただきたいなという思いがありました。大勢の人が来園しますので、一緒にいるお子さまから目を離さないで頂き、安全に留意して頂くなど留意事項を踏まえた上で、希望をとることにいたします。
- ・ 一週間の延期に関してですが、こどもたちのモチベーションが、下がらないように保育教諭が、声掛け、励ましをしております。4・5 歳児の延期についてですが、4 歳児はパルーン演技、5 歳児は集団演技を、体操教室で、体操指導員の声かけ、合図で、少しずつ積み重ねたものを披露します。合図・声かけは、保育教諭にもできますが、身に付いた合図、ほんの少しのタイミングに違いがでると、園児が戸惑い、集団演技に関しては怪我につながりやすいと考えています。その為、体操教室以外は、集団演技の練習をしないように職員に伝えております。園児がいつものように戸惑いなく、力を発揮できるのは、いつもと同じ合図、指導員、と思っており、集団演技・パルーンを披露する運動会においては、体操教室指導員が来園する曜日となります。
- ・ 2・3 歳児の延期に関してご指摘の通りです。開催場所、時期、延期の有り方について、今後検討していきます。

【親子遠足（ディズニーランド）について】

- ・ 年長児だけでよい。集合写真があると嬉しい。学年ごとにバスを分けて…等のご意見を頂きました。昨年度のアンケート結果で、「清水のように年長児だけでなく他年齢も遠足に行けると…」とありましたので、そのご意見を参考にさせていただき、初めての試みで、どの位の申し込みがあるのか検討がつきませんでした。計画をしました。年長児だけに絞ってしまうと、ご家庭によっては様々な理由から参加が難しい事もあり、場合によっては数人だけ参加できないという可能性があると考え、3 歳～5 歳までの参加としました。バスの乗車については、クラスごとに乗車する場合、年長児は（2 クラス親子で 100 人（全員参加））とすると、2 台では乗車できません。補助席を使用しない為）年中児は（2 クラス親子で 78 人（全員参加））とすると、2 台では席に余裕があり過ぎてしまいます）又、バスの台数が増えれば増えるほど、バス代金が高くなります。上記のことも踏まえ、案内文にも掲載しましたが参加の人数によって、バスの配置を考えていますので、年齢ごと、クラスごとの乗車は難しいです。写真撮影においても、上記のように年齢ごとやクラスごとにバスの配車をすることが難しい為、現地についてからクラスの参加者全員が揃うまでに時間がかかり待ち時間が生じます。今年のように道路状況もスムーズにいくとは限りません。以上のことから、園として団体写真は撮らないこととしました。記念にという方は、保護者様同士誘い合って頂き、各自でお願い致します。

【発表会について】

- ・発表会をなくす方針。発表会をなくさないでほしい。年少児もやってほしい。歌をうたうだけでも…等のご意見を頂きました。発表会については、令和5年度のアンケートでもお知らせいたしました。
- 囲いの部分が令和5年度の園からのコメント文面です。

確かに、「一つの演目を友だちとやり通すことで、達成感を感じる」「大勢の人の前で発表し、自信につなげる」等、保護者の皆さまにとっても、お子様の成長を感じられる行事です。ですが、保護者の皆さまの想いとはうらはらに、発表会はこどもたちにも、保育者にとっても、実はとても負担になっている行事なのです。数カ月間、沢山の時間を練習についやし、こどもたちが自由に遊ぶ時間が減ります。保育者は保護者の皆様に喜んでもらおうと出来栄を気にして、一生懸命になればなるほど練習を重ねます。そして、こどもたちも間違えないようにと不安になり、練習が嫌に感じるお子様も出てきます。ダンスや、人前で表現することが、好きなお子様もいれば、苦手なお子様もいます。苦手なお子様にとっては、練習時間や発表が苦痛でしかないのです。そうしたこどもたちの姿に直面するたび、「これは教育・保育なのだろうか」「もっと、こどもたちとの時間を大切にしたい」と、職員全体で悩み、今後行事の有り方を考えていかなければならないと痛感しております。今年度は、練習はあまり行わない、練習という言葉は使わず“発表会ごっこ”にしよう、衣装・小道具は、最小限にと、職員間で決め発表会に臨みました。発表会の有り方を少しずつ、変えていきたいと思います。

0・1・2歳児の発表会は、考えておりません。0・1・2歳児のお子様にとっては、自分の意思で衣装を着て、舞台上立って、表現する等、総合的に考えて難しいと判断しております。公開保育でもお家の人が見えたら、側にいきたい、一緒に遊びたい、甘えたい、というような姿が見られます。

0・1・2歳児は、お家の人に見守られたり、抱かれたりしながらこども園で、楽しい時間を過ごし親子の愛着関係を大切にすることに重点をおきたいと思います。ここまでが昨年度の文面です。

保育教諭は、指導計画を日々立てて教育・保育を行なっております。計画を立てる上で基本となっている幼保連携型認定こども園教育・保育要領 指導計画作成上の留意事項において（抜粋）

力) 行事の指導に当たっては、幼保連携型認定こども園の生活の自然な流れの中で、生活に変化や潤いを与え、園児が主体的に楽しく活動できるようにすること。なお、それぞれの行事については教育及び保育における価値を十分検討し、適切なものを精選し、園児の負担にならないようにすること。

更に、行事を過度に取り入れたり、結果や出来栄に過重な期待をしたりすることは、園児の負担になるばかりでなく、ときには園生活の楽しさが失われることにも配慮し、園児の発達過程や生活の流れから見て適切なものに精選することが大切。

とあります。上記のことも踏まえ発表会としての行事は、令和6年度（今回）から“発表会の為の練習を繰り返さない・小道具、衣装は最低限に・公開保育という形・遊びの続き”として、ご覧いただこうと発表の方法を変更しています。こどもたちの遊びや学びの時間を練習として奪わないこと、こどもたちと過ごす時間を大切にしたいという思いから、今後も公開保育として遊びの続きをご覧いただきたいと思います。以前のように数カ月間発表会の為の練習を積み重ねたり、衣装を着飾ったりする等の発表会は行いません。

【コーナーの人数制限について】

- ・保育室内の環境について人数制限をかける理由について知りたい…

当園は、これで遊んでねと、玩具を保育者が選んだりみんなで一緒に制作したり等の、一斉保育ではなく、こども自らが遊びを選んで主体的に遊ぶ（ピラミード）を、教育・保育に取り入れております。保育室の環境についてですが、子どもが遊びながら、学ぶ意欲を引き出す為に、遊びの為にコーナーをそれぞれ設置します。月ごとにテーマを持ち、保育室のコーナーと繋げながら、『プロジェクト』という教育・保育活動を展開しています。保育室のどこで何をして遊ぶか、子ども自身が選択してじっくり遊べるよう、遊びごとにコーナーを設置します。コーナーは、子どもが見て魅力的であり「遊びたい」と心がワクワクするように、工夫し玩具を置きます。保育教材が必要な場所に、必要なものが必要な分だけ、用意されています。各クラスの保育教諭が、今現在の子どもの様子を見て、子どもたちに今必要でどう準備したら、何が育つだろうと考え、どうなってほしいかを保育教諭が計画し、コーナーを設置しています。更にコーナーは、プロジェクトに合わせて発達領域を設定します。例えば、2月の衣服のテーマでは、保育室には『言葉の発達』・『知覚の発達』・『運動能力の発達』・『芸術的表現の発達』を考えたコーナーが、主に設置されます。他のプロジェクトでは、『時間と空間』・『思考』・『個性』・『社会性を持った情緒』等の発達を考え、8つの発達領域を常に考えて、コーナーを設置しています。

何故、人数制限をするのかに対してですが、子どもの遊びを確保する為です。例えば、数に限りがあるブロック等の玩具では、担任が子どもたちの今の様子を見て、『考えて作る』、『十分に組み立てられる』等の遊びが満足できる人数を考えて設置します。

ままごとコーナーでは、何人までであれば、言葉を交わしたり、個性を出したり、役になり切ったりが、できるだろうと考えて人数を設置しています。

衣服を着てみようコーナーでは、十分に洋服の着脱が自分で出来たり（運動能力）着たい服が見つかり、鏡に写して楽しんでみたり（芸術的表現の発達）が、何人なら楽しめるかなど、考えて設置をしています。

全てのコーナーに入れる人数を示しているの、保育者が何人までと子どもに言うことをしなくても、目で見てわかるようになっています。コーナーに入れず待っていたり、トラブルになったりするときは、その都度、保育者も介入しながら、子どもたち同士で話し合い、人数を超えて遊ぶこともあります。（待つに対してですが、遊んでいる友だちの様子を見て、ワクワクしながら自分の番を待つ時もありますので、そのような姿の時は、そのまま見守ります）

又、コーナーの中には、保育者が一度は立ち寄ってほしい、必ずこのコーナーには、来て欲しいというコーナーがあります。子どもたちに、経験してもらいたい、触れてもらいたいと思うコーナーには、長い期間をかけて、ここまでの間にきてねと、子どもたちと話し合い、無理なく進めています。

【食事について】

- ・食育だよりに掲載します。

【その他】

- ・太鼓を取り入れてほしい…鼓笛や、習い事としては行いません。日々保育の中で楽器に触れています。
- ・17時以降の入り口の鍵について、検討いたします。
- ・プールについて…暑い日が多く、園庭に日陰がないので砂場を移動し、砂場と日よけを新たに新設。元の砂場の上に日よけを付け、普段は日陰として使用。夏の時期はプールを置き、日よけの下でプールを行うように致しました。工事発注が遅くなってしまったこともあり、また文部科学省・子ども家庭庁・スポーツ庁等のガイドラインに基づき（気温25℃以下・気温35℃以上）（WBGT 31℃以上）は、中止にしています。来年度は、もう少し早めにプールを設置いたします。

・グループラインについてですが、今のところ揉めている等のトラブルを聞いておりませんので、個人の判断にお任せ致します。ですが、行事等でも毎回お願いしておりますが、お子様の写真等を保護者様の断りなく載せたり、個人名や個人情報載せたりすることは禁止致します。これからも続く保護者様同士の交友関係において、園側としてもトラブルは避けたいので、グループに入るのを強要しない、必要以外連絡しない、何時まで、返信の仕方について等、保護者様のグループ内で、ルールを決めてみるとよいのではないのでしょうか。

・他クラスとの交流が多く良いなというご意見を頂戴いたしました。日々の保育の中でクラス単位だけではなく同年齢・異年齢児とも関わって遊んでいます。少子化が進み、おみがわこども園においても、入園児が減少しています。利用定員令和4年度230人、令和5年度200人、令和6年度185人、令和7年度175名と毎年利用定員を減少しています。このことを踏まえ数年後には、年齢別のクラス編成ではなく、異年齢児混合（縦割り）クラスも考えております。縦割りクラスと聞くと小さい年齢の子に引っ張られ、幼くなってしまうのではないかと、上の年齢の子と一緒に、ついて行けるのか等、心配されることもあるかもしれませんが、同年齢児同士の姿とは違う姿が見られます。私はお姉ちゃん、お兄ちゃんなんだという自覚が芽生え、張り切って行動する姿や、小さい子への思いやりの気持ちを自然にもてるようになります。年齢の小さい子は、お兄ちゃん・お姉ちゃんみたいになりたいと、憧れを持つなど子どもたちがお互いに相互作用しながら、育ち合っていきます。縦割りクラスといっても同年齢同士の関わりも必要なので、その時間も確保していきます。縦割りクラスになる場合には、再度説明をいたします。